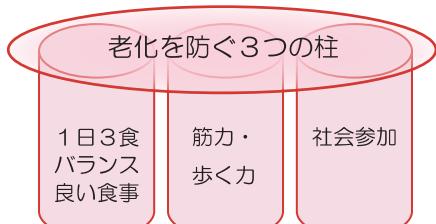


# 4 シニア期 (65歳以上)

## シニア期の健康づくり ～老化を防ぐ3つの柱～

老化を防ぐには、

- ①低栄養の予防  
= 1日3食・バランス良い食事
  - ②運動機能の維持 = 筋力、歩く力
  - ③社会参加 = よく外出する
- の3つの柱が必要とされています。



## 検診を受けましょう

自らの健康状態を確認することは、病気の  
それまでの生活習慣を見直すことにもつな

## ロコモティブシンドローム

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）とは、骨、関節、筋肉や神経など体を動かすのに不可欠な器官（運動器といいます）の働きが悪くなり、体を思うように動かせなくなって要介護状態（介護が必要な状態）や寝たきりになったり、そうなる危険性が高い状態のことをいいます。

分野	目標
② 正しい生活習慣の実践	□ 生活習慣病とその原因を知る □ 適正体重を知る □ むし歯や歯周病とその関連疾病について知る □ うつ病などのこころの不調と対処を知る
	□ 朝・昼・夕の3食を食べる □ 食事バランス（主食・主菜・副菜）をととのえる □ 食品や料理に含まれる塩分量を知り、取り過ぎない □ 今より一皿野菜料理を増やす □ 適正体重を維持するため、週1回は体重を量る
	□ 週に2回以上、自分に合った無理のない運動をする □ プラス1500歩または約10分歩く □ 買い物や外出の際はなるべく歩く
	□ 生活リズムを整え、活動と休養のメリハリをつける
	□ 適量を知り、飲みすぎない
	□ たばこを吸わない □ たばこを吸う人は禁煙にチャレンジする □ 周囲に煙を吸わせない
	□ 週1回は歯や歯肉を鏡で観察する □ 食後はていねいに歯をみがく □ 左右両側の歯でよくかんで食べる
	□ 人との関わりを保ち続ける □ ストレスに対して、いくつかの対処方法を身につける □ 深刻な悩みをひとりで抱え込まないで相談する □ 適切な専門機関を利用できる
	□ 定期的に健診・歯科健診・がん検診をうける
	□ 予防接種をうける □ 家庭内で転倒防止策をとる
③ 自らの健康管理	□ かかりつけ医・歯科医・薬局をもつ □ 必要な治療を継続する
	□ 近所の人とあいさつをする □ 地域のグループ活動に参加する □ 日常的に、地域の安全を見守る □ 積極的に外に出る
	□ 健康づくり活動
	□ 健康づくりを目的とした活動に主体的に関わる
④ 健康を支える環境	

## ロコチェック（ロコモティブシンドロームの自己チェック）

次の項目のあてはまるものにチェックしてみてください。

1つでもあてはまると、ロコモティブシンドロームの可能性があります。

- 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 階段を上るのに手すりが必要である
- 15分くらい続けて歩けない
- 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 片脚立ちで靴下がはけなくなった
- 2kg程度の買い物をして、持ち帰るのが困難（1リットルの牛乳パック約2個）
- 掃除機がけや布団の上げ下ろしなどのやや重い家事が困難である



（「ロコモ チャレンジ！推進協議会WEBサイト」より ロコモ チャレンジ！推進協議会転載承認済）